



平成28年3月3日

各位

会社名 明治ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 正彦
(コード: 2269 東証第1部)
問合せ先 取締役執行役員 IR広報部長 古田 純
(TEL: 03-3273-3917)

株式会社 明治 カマンベールチーズ製造の新棟建設に関するお知らせ

当社の事業子会社である株式会社 明治（代表取締役社長：川村 和夫、以下明治）は、十勝工場敷地内にカマンベールチーズ製造の新棟を建設することといたしましたので、お知らせいたします。

現在の国内チーズ市場は、「家飲み」でのおつまみ需要や料理への使用シーン拡大、お客さまの健康志向などを背景に拡大傾向が続いており、14年度の国内消費量は約30万トン（前年度比100.8%）となっています。

中でも、近年ナチュラルチーズ※の伸長が著しく、同年度のナチュラルチーズ消費量は前年度比102.1%とチーズ全体を上回る数値でした。

※…チーズはナチュラルチーズとプロセスチーズに大別される。

ナチュラルチーズは生乳を発酵させ水分を減らし熟成させたもの。熟成とともに風味が変わる特長がある。

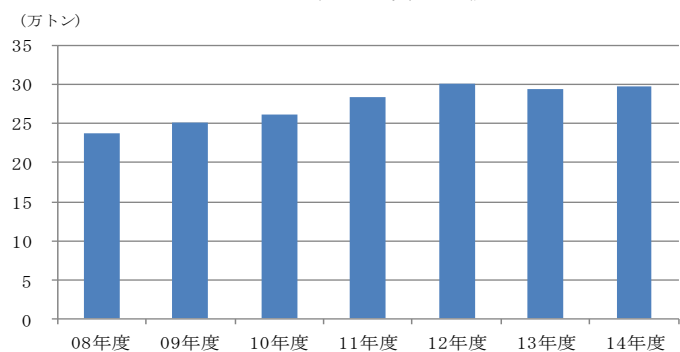
明治においても、ナチュラルチーズの「明治北海道十勝カマンベールチーズ」シリーズが売上好調に推移し、15年度のチーズ事業売上高は338億円と過去最高を更新する見込みです。

今後もチーズ市場は成長が見込まれることから、今般主力商品であるカマンベールチーズ製造の新棟を建設することとし、新棟での生産開始後、現在カマンベールチーズを製造している十勝帯広工場は生産を中止いたします。

明治では、拡大するチーズ市場に対し、生産体制の強化を図るとともに、引き続き新商品開発や食シーンの提案等に注力することでチーズ事業のさらなる強化に取り組んでまいります。

本投資に関する概要は下記の通りです。

チーズの国内消費量推移



出典：「平成26年度チーズの需給表」（農林水産省）

※グラフは同調査データを元に作成

記

1. 投資内容

十勝工場（北海道河西郡芽室町東芽室北1線15-2）敷地内に
カマンベールチーズ製造の新棟を建設

※十勝工場は、ナチュラルチーズ・クリーム・ホエイ粉の製造工場

2. 投資額

約90億円

3. 新棟の延床面積

約9,400㎡

4. 新棟の生産能力

年間 約3,000トン

※現在カマンベールチーズの製造工場である十勝帯広工場（北海道帯広市東6条南16-3）
の約1.5倍の生産能力

5. 生産開始時期

18年度上期予定

※新棟での生産開始後、十勝帯広工場での生産は中止予定

※本投資による今年度の当社連結業績に与える影響は軽微と見込んでいます。

以上